

行事予定表

1	月	体操
2	火	
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
6	土	
7	日	
8	月	体操/絵本の読み聞かせ14:00~(そうグループ) 給食費振替日
9	火	ピヨピヨひろば/交通安全教室(そうグループ)
10	水	だいちぐみ保育参観
11	木	ほしぐみ保育参観
12	金	ひかりぐみ保育参観
13	土	
14	日	母の日
15	月	体操/生活写真撮影9:30~(だいち・たいよう・そら)
16	火	にじぐみ保育参観
17	水	おべんとうデー/生活写真撮影9:30~(にじ・ひかり・ほし)
18	木	カレーの日
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	体操
23	火	
24	水	避難訓練
25	木	誕生会
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	リトミック

●絵本の読み聞かせ(8日)  
・牛久市指導課の宮本先生と栗山先生が毎月紙芝居や絵本の読み聞かせに来て下さいます。5歳児が楽しむにはなりません。

今月の予定の中か...

青空の中を、鯉のぼりが、気持ち良さそうに泳ぐ園庭を子ども達の明るい声の流れでいく。やわらかな新緑、百花繚乱風薫る五月。子ども達の季節。生命が躍る季節。



今年、早い春の訪れと長い空白を経て再開の時を迎え、なお一層、春が華やいだ。

交通安全教室(9日)  
交通安全教室で教えて頂いている、道路を渡る時にはみぎ・ひだり・みぎを目で見て確認してから渡ることを、お散歩の際も確認しています。

●保育参観(10日11日12日16日)

- 5/10(水)だいちぐみ
- 5/11(木)ほしぐみ
- 5/12(金)ひかりぐみ
- 5/16(火)にじぐみ

\*保護者の方は、お子さん1人につきお1人の参加でお願いします。後日、日案を配布しますので宜しくお願ひします。

●生活写真(15日・17日)

- ・園生活の様子(自由あそび・食事の様子など)を写真屋さん撮影します。
- ・15日:..だいち、たいよう、そら
- ・17日:..にじ、ひかり、ほし

●カレーの日(18日)

・たいようぐみ・そらぐみのお子さんは、エプロンと三角巾の用意をお願いします。4歳児は待ちに待った「野菜切りデビュー」です。5歳児は、野菜切りと釜戸係を行います。だいちぐみは、自分たちのフルーチェを作り、ほしぐみは、野菜洗いを担います。

●おべんとうデー(17日)

・子ども達の大好きなおべんとう! お弁当のおかずも、自分で食べられるようなもの大きさや形態の物をお願いします。中味をよく冷まして、保冷剤も必ず入れて下さい。

●誕生会(25日)

・今月も、誕生児を皆でお祝いします。5歳児はスクーフを首に巻き、誕生会の初めの言葉と3・4・5歳児の誕生児を席までエスコートします。

●リトミック(31日)

・今年度初めてのリトミック。中島先生のご指導の下、音やリズムを身体で感じ、楽しみながら表現していきます。午睡時間には、先生達が中島先生から指導を受けています。



共育・協育・響育(こども園で..)

お気付きでしたでしょうか。入園式の時、先生方は初対面にも関わらず、名簿を見ず、一人ひとりと、全ての子の顔を見て、名前を呼んでいました。とてもできない事です。そして、初登園日は、大騒動です。最近、良い生活習慣を身につけている子が多く、初めから活発に遊び、泣く子は少ないのですが、上履きと外靴の区別ができず、上履きのまま外に飛び出し、泥んこのまま部屋に戻ります。まだオムツが取れない子もいます。一人を拭いていると、さらに一人と、息つく間もありません。でも、先生方は怒ったり叱ったりせず、いつもにこやかに「この次は、出そうになつたら教えてね。一緒にトイレに行つて、オシッコしようね。」と優しく教えます。それでも、何度も失敗します。失敗しても忍耐強く教えます。靴を自分で履けない子も目立ちます。自分でできるように、履き方を教えます。給食が始まると、さらに大変です。あ

つちでゴハンをひっくり返した、スープをこぼしたと、始末をしていると、こつちではオシッコをもらしたと、大騒ぎです。その間に、全ての連絡帳に目を通します。自分の食事をする時間は、殆ど取れません。どうしても早食いになってしまいます。私は、見かねて、必ず3歳児の部屋に応援に行っています。自分で食べられない子もいます。明らかに食事の仕方を教えられていません。ハシを持たずにワシズカミで、食べ散らかしてしまいます。本園では、子ども達が健康に発達するように、何でも自分でできるようにやらせています。オムツも早目に取ってもらいます。靴も自分で履けるようになります。食事の仕方も、ハシの持ち方も、やらせなければ、できるようになりません。

「子ども達の最良の教師は、自らの手である。」モンテッソーリ  
「子ども達は良い環境の中で、なすことにより学ぶ。」デュイイ  
「人をデクの坊(何もできない人間)にする一番の方法は、何もやらせず、全てやってやることだ」と、今川氏が人質の徳川家康の育て方を指示した、と言う話があります。(しかし、お付きの家臣はそうはさせなかった。)手先を使わないと、トイレット・トレーニングをしないと、脳の発達も遅れてしまいます。「ご家庭でも、紙オムツを取って下さい、一緒にやりましょう」とお願いしたら、「うるさい!」と激怒して、教育委員会に訴えた親もいました。それでも先生方は、嫌な顔一つせず、涙も見せず、頑張ります。それは、子どもが大きく成長した時の感動と喜びに、嬉し涙を流すことができるからです。一緒に子ども達を育てましょう。一緒に子育てを楽しみましょう。一緒に成長の喜びをかみしめましょう。

